

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(有限会社 志賀野シーケンス)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・あらゆる場面で差別が起こらぬ様、管理者がマネジメントを行い、経営者も積極的に関与している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・日々の出勤記録、業務日報により従業員の勤務時間や業務負荷を把握し管理している。また月2回全従業員の残業時間を集計し管理者全員で情報共有している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・これまで外国人労働者の雇用機会は無いが、国籍に関係なく採用している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・7S委員会(安全)を設置し、月1回の職場安全/トラブルならびに7S会議を設け、実態報告、改善活動を実施している。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・年1回健康診断と共にメンタルヘルスチェックの実施ならびに、必要により個面談を実施している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・性別・年齢等にこだわらず、適性を鑑み配置し、安全で働きやすい職場環境整備を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			経費全額会社負担による国家資格取得、各種講習会等への参加により能力開発、教育訓練を社員・派遣・外注分け隔て無く実施している。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・労働基準法等の改訂内容を理解した上で、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を実施している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・結実会(社員独自運営)にて、各種レクリエーションを企画開催している。また福利厚生で会員制リゾートと契約し、従業員、派遣、外注等誰でも利用出来る様にしている。			3					8									
11 環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・ISO14001取得済み ・排出物の適切処理、削減目標の設定、排出量の管理を実施している。											11.6 12.4		14.1				
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・温室効果ガスの排出量については把握していないが、電気、ガス、ガソリン、軽油の使用量に関しては定期的に記録している。						7.3						13					
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・温室効果ガスの排出量については把握していないが、社内にて改善提案制度を活用し、省エネ対策を推進している。						7.2 7.3						12.4 13.3					
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・ISO14001規定、市町村条例等に則り法令で規制されている有害化学物質の適正管理、削減、代替を実施している。			3.9			6.3					11.6 12.4						

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・グリーン調達の実進を通じて生物多様性保全に配慮している。						6.6									15		
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・排出物の分別を徹底し、廃棄物の減量化、再生資源の3Rの推進に努めている												12.5		14.1			
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ									6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ			・2005年 ISO14001取得済			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・環境方針をホームページにて公開している。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ									7.2							13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・コピー用紙の裏紙利用や保存書類のペーパーレス化に取り組んでいる。												12.2	13	14	15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を就業規則に記載し社内浸透を行っている。															16 16.5		
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争行為等を含む行動規範を就業規則に記載し社内浸透を行っている。																16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・弊社保有の特許等知的財産権の取得・管理している。 ・社内技術・知識等の継承のためにマニュアル化ならびに社内研修を実施している								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本		【予定】	[予定] 個人情報について、新たに規程を作成する。																16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																			16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ								5		8			10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	取引先との協力関係を構築し、生産性向上や付加価値創出を目指す。 【予定】パートナーシップ構築宣言への準備を進める。			3				8	9	10								17

	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・品質管理システムの構築を行い、各種チェックシート、QC工程表等を整備し運用している。 ・想定されるリスクに対し予防処置を行っている。			3.9									12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・2000年 ISO9001取得済み ・クレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している。 ・品質基本方針ならびに実施計画を策定し毎月進捗状況を管理している。								9										
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・ISO14001の基本方針に「環境に配慮した設計製造を行います」を掲げ活動している。						6						12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地域に根差した事業展開をし、門戸を開きながら多くのパートナーを確保している。				4				9		11	12			14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・地域の各種イベント等へ運営側としての積極的参加を行っている。				4						11				14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			・地域の事業者利用を最優先として取引している。								8	9		11	12	13					
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本			・経営理念を朝礼時に全従業員での唱和している。また方針説明会、中間報告会を実施して従業員への周知を行っている。								8	9								17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・ISO9001、ISO14001の取得により品質、環境関連法令、7S委員会設置により労働安全関連法令の重要性の認知・遵守をはかっている。																	16	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・品質、環境、安全に関する責任者を配置すると共に組織図に明記し従業員へ周知済み。																	16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・定期的にステークホルダーと対話し、要望、問題点を把握し適宜対応している。																	16 17	
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			・BCP策定ならびに予防処置の提案制度を設け、常にリスク測定・対応・予防処置を実施している。																	16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																					16
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			・BCPを策定し、定期的なリスクの測定、訓練、BCPの改善を行っている。								9		11		13 13.1					16	
	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			・後継者がいる。 ・事業承継に係わる株式譲渡の問題を今後一切出ない様に対策済みである。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクスセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定